

平成 25 年度東海村文化祭

弓道演武・射礼の発表



文化祭演武発表風景(古式演武)

日時 11月4日(月) (振替休日)
午前の部 9時30分～12時
午後の部 13時～15時

場所 東海村総合体育館弓道場

主催 東海村文化祭実行委員会
東海村弓道連盟

演武内容及び参加者（敬称略）

午前の部 （9時30分～12時）

- (1) 矢渡し
- (2) 古式演武
- (3) スポーツ少年団

氏 名	氏 名	氏 名
原 大倭	高橋 萌由	萩原 歩愛
関田 舜也	矢花 滉太郎	吉田 明日美
高橋 英礼	大沼 楓弥	豊嶋 浩輝
佐藤 大空	中村 朝陽	戸賀 心優
佐俣 茜	滑川 翔太	樋田 野々花
村上 彩花	村上 桃花	東 結花
大内 玲瑛	川上 碧葉	頼経 颯斗
小泉 龍之介	吉田 菜々美	黒沢 拓見
鈴木 琴葉	阿部 桃子	

- (4) 一般演武

午後の部 （13時～15時）

射礼演武

演 武 内 容	所要時間	演 武 者 名	
		(50音順)	
(1) 古式演武	20分	宇留野 純平	大内 義弘
(2) 立射礼	15分	小野 桂子	梶山 博正
(3) 一つの射礼	40分	川崎 百合子	木村 喜久雄
(4) 持ち的射礼	20分	沓掛 忠三	後藤 実
(5) 坐射礼	30分	砂押 栄二	砂押 真智子
		関島 勝	田口 敏朗
		床嶋 純孝	根本 利江
		萩谷 明政	橋本 国治
		橋本 智子	馬場 雄大
		濱野 昇	原 泰三
		森下 慎一	
(終了時間まで繰り返し行います)			

各種射礼の紹介

射礼とは弓を射る際に立ち居振る舞いが礼式に叶った動作で行うことを言い、弓馬礼式で有名な小笠原流等が現代の弓道にも引き継がれております。

I. 矢渡し

矢渡しは、各種弓道大会(年初めの射初め会)や昇段審査等の行事の開始に当たり最初に矢を的に射る(矢を通す)ことを言います。構成は射手と射手を補助する第一介添え・矢を取り扱う第二介添えの三名で行います。



II. 古式演武

小笠原流弓術の射礼で武士の礼服である烏帽子直垂(えぼしひたたれ)を着用して射を行います。今回は蹲(つくばい: 坐った姿勢)で行射します。特に改まった儀式等の際行われるものです。(表紙の写真)

III. 射礼

1. 一つの射礼

2~4人の複数人で一つの的に交互に矢を射込みます。射場にて一番立ちから順次行射し、射終わると後に退き次の射手が移動して同じ的に行射します。これを2回繰り返します。一見単調な動作に見えますが、これらの動作は作法に則り射手同志が呼吸を合わせて振舞い、調和を保つことが大切な射礼です。

2. 持的射礼

持的射礼は通常4~5人で行い、的を人数分用意し射手は自分に決められた的に向かって行射します。射位にて1番立ちから順に行い、射終わったら後(本座)に退き、それに合わせ二番立ちの射手が的を射ます。この要領で三番立・四番立と順次自分の的に矢を射込み本座に下がります。これを2回繰り返します。

3. 立射礼

全ての動作を立った姿勢で行い通常3人で一つの的に行射します。

IV. 坐射

昇段審査等で行われる様式です。射術と立ち居振る舞いが一体となり射品・射格が体现される弓道の基本の型です。



東海村弓道連盟の紹介

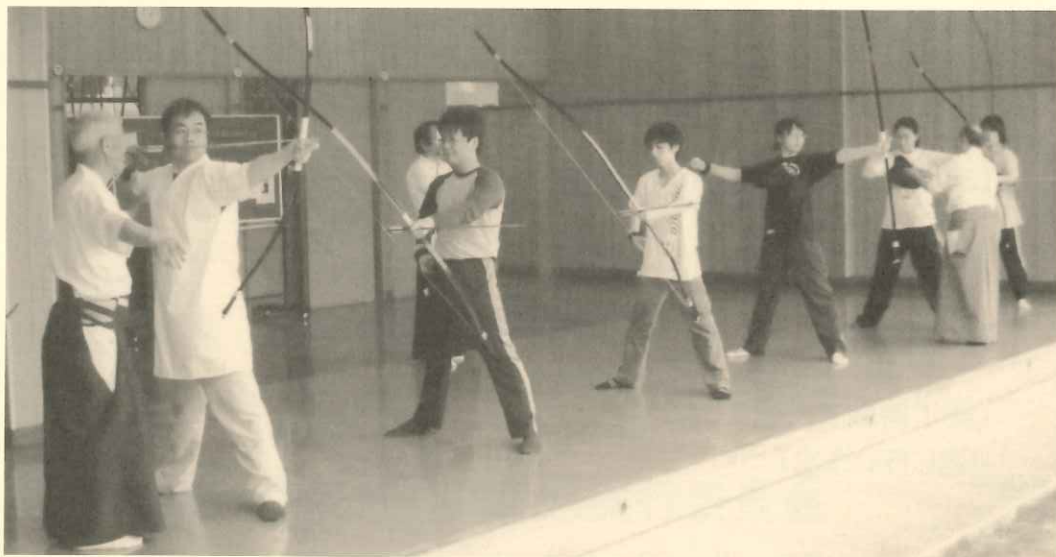
東海村では小学生から中・高校生及び一般社会人まで幅の広い層によって弓道が親しまれております。この体育館弓道場では連日朝から夜遅くまで多くの人達が弓道を楽しんでいます。また村内の中学校には弓道場が設けられ弓道部の活動も活発で全国大会でも良い成績を残しております。東海村弓道連盟が創立したのは1971年(昭和46年)で本年42周年を迎えております。現在の弓道愛好者は社会人100名・スポーツ少年団30名・中学生100名・高校生20名で計約250名です。

年間の主な行事

- 4月 ・村松山虚空蔵堂大祭奉納演武(村松山虚空蔵堂境内に於いて)
・村松山弓道大会(東海さくらまつりイベント 体育館弓道場に於いて)
- 6月 ・東海村文化スポーツ財団との共催でチャレンジスクール「弓道の部」を実施
- 10月 ・村民総合体育大会
- 11月 ・文化祭弓道演武の発表
- 1～12月 ・射初会・春季大会・50射会(年2回)・支部対抗戦・夏季錬成会・秋季大会
また、年間を通して弓道スポーツ少年団の指導(毎年4月に各小学校へ募集案内)
東海中学校、東海南中学校、東海高校弓道部へ指導員を派遣しております。

チャレンジスクール「弓道の部」について

連盟では毎年6～7月にかけて東海村文化・スポーツ振興財団との共催でチャレンジスクールを開催しております。弓道は生涯スポーツであり年齢に関係なく楽しむことができるスポーツです。1日2時間づつ10回(10日間)の教室体験で初心者でも28m離れた的に向かって矢を射込むことができるようになります。1度体験してみても如何ですか(平成25年度のチャレンジスクールへの参加者は24名)



チャレンジスクールのスナップ